

Information

医療の質・安全学会 第8回「新しい医療のかたち」 賞推薦募集

応募締切▶5月31日

募集趣旨▶医療の質・安全学会では、患者本位の医療をめざし患者・市民の医療参画を支える地域社会の活動と医療機関の取り組みを、ホームページで紹介するとともに、「新しい医療のかたち」を指し示す活動を顕彰することで、患者－医療者－市民のパートナーシップを育て地域社会に開かれた医療の普及と発展に寄与したいと考えています。このような目的で取り組んでおられる、患者グループ、医療機関、地域社会（市民グループ、自治体、企業等）の活動をご紹介、ご推薦ください。

申込先▶医療の質・安全学会パートナーシッププログラム

下記ホームページより

<http://qshpsp.ec-net.jp/>

日本訪問看護財団研修

◎基礎講座～伝えます、訪問看護の魅力（2日間研修）

日時・場所▶

〈東京〉5/17(土)・18(日)、研究社英語センター会議室（東京都新宿区）

〈名古屋〉5/31(土)・6/1(日)、愛知県歯科医師会館（名古屋市中区）

※神戸（8月）、東京（10月）予定あり

プログラム▶

〈1日目〉「訪問看護制度」／「訪問看護過程の理解」／「訪問看護過程の展開（演習）」

〈2日目〉「訪問看護の実践」／「訪問看護技術」／「地域における訪問看護師の役割と協働」

講師（予定）▶佐藤美穂子（日本訪問看護財団）、上原まり（同）、平原優美（あすか山訪問看護ステーション）

対象▶新人訪問看護師、これから訪問看護に携わりたい看護職員、在宅看護論を担当する看護教員等

受講料▶

〈単日〉会員 6000 円、非会員 1 万 7000 円

〈両日〉会員 1 万円、非会員 3 万円

◎認定看護師のための フォローアップセミナー

日時▶6月8日(日)

会場▶ハートンホテル北梅田（大阪市北区）

講師▶石井美恵子（北里大学）、中村伸一（福井県国民健康保険名田庄診療所）

対象▶認定看護師（全 21 分野）

受講料：会員 5000 円、非会員 1 万円

◎訪問看護管理セミナー 経営管理と運営管理（2日間研修）

日時▶6月14日(土)・15日(日)

場所▶ベルサール新宿グランドコンファレンスセンター5階（東京都新宿区）

プログラム▶

〈1日目〉「訪問看護ステーションの経営とは」／「経営安定に導くためのマーケティング」／「訪問看護ステーションの黒字化を達成するための方策」

講師▶梅本哲（医療産業研究所）、佐藤美穂子

〈2日目〉「訪問看護ステーションの運営・管理の実践」／「地域包括ケアシステム構築に向けた訪問看護の役割」

講師▶内田恵美子（日本在宅ケア教育研究所）

対象▶訪問看護管理者、訪問看護ステーションの開設を考えている経営者等

受講料▶

〈単日〉会員 7000 円、非会員 1 万 7000 円

〈両日〉会員 1 万 2000 円、非会員 3 万円

◎質の高い在宅ケア実践のための ELNEC-J 2014

日時▶7月5日(土)・6日(日)

会場▶日本看護協会 JNA ホール（東京都渋谷区）

プログラム▶「エンド・オブ・ライフケアにおける看護・倫理的問題・文化への配慮」／「痛みのマネジメント」／「症状マネジメント」／「コミュニケーション」／「喪失・悲嘆・死別」／「臨死期のケア」など（全 10 モジュール、演習・グループワーク含

む）

講師▶桑田美代子（青梅慶友病院）、濱本千春（YMCA 訪問看護ステーション・ピース）、千葉恵子（亀田総合病院）、平原優美（あすか山訪問看護ステーション）、平野和恵（財団事業部認定看護師教育課程専任教員）

対象▶訪問看護師およびエンド・オブ・ライフケアに関心のある看護師等

受講料▶会員 1 万円、非会員 3 万円

◎第1回精神障がい者の 在宅看護セミナー

日時▶7月18日(金)～20日(日)、8月30日(土)・31日(日)(全5日間)

会場▶東京都内

プログラム▶「精神保健の現状と動向」／「訪問看護に係る制度・報酬の動向」／「精神障がい者の病態」／「精神障がい者の薬物療法と最新治療法」／「精神障がい者の訪問看護の動向・最新知識と制度活用」／「訪問看護におけるメンタルヘルスケア」／「精神障がい者の各種療法」／「精神訪問看護の基礎」／「精神障がい者への集団療法と精神科リハビリテーション」／「精神訪問看護の実践」／「精神障がい者の家族及び介護者等への支援」

対象▶精神訪問看護に従事する看護職員、作業療法士等

受講料▶会員 3 万円、非会員 6 万円

【以下共通】

申込・問い合わせ先▶日本訪問看護財団
〒150-0001 東京都渋谷区神宮前 5-8-2
日本看護協会ビル 5 階

☎ 03-5778-7005（研修担当）

FAX 03-5778-7009

<http://www.jvnf.or.jp/>

2014 年度 アルコール・薬物依存関連学会 合同学術総会

日時▶10月3日(金)・4日(土)

※第16回国際嗜癮医学会年次学術総会（10月2日～6日）との合同開催

会場▶パシフィコ横浜会議センター（横浜市西区）

テーマ▶物質と行動のアディクション～多様な時代へのチャレンジ

参加費▶

〈9月2日まで〉会員 8000 円、非会員 9000 円

〈当日〉会員 9000 円、非会員 1 万 2000 円
※学生（学生証提示）、当事者、家族 3000 円

申込方法▶下記ホームページより

<http://www.congre.co.jp/addr2014/contents/reg.html>

◎演題募集

応募締切▶5月29日(木)

問い合わせ先▶事務局

〒102-8481 東京都千代田区麹町 5-1
弘済会館 6 階

☎ 03-5216-5318

FAX 03-5216-5552

✉ addr2014@congre.co.jp

<http://www.congre.co.jp/addr2014/contents/abs.html>

日本訪問看護財団
2014 年度
「訪問看護 e ラーニング」

開講日▶6月2日(月)

申込期間▶6月2日(月)～2015 年 1 月 5 日(月)

受講可能期間▶ユーザ ID・パスワード配信日から 5 か月間

受講方法▶インターネットを利用した通信教育

プログラム▶「新たな訪問看護研修ステップ 1」に準じた訪問看護に関する基礎的内容（訪問看護概論、訪問看護対象論、訪問看護展開論、在宅ケアシステム論、訪問看護技術論、訪問看護管理論）

受講料▶個人申込 1 万 5000 円、都道府県看護協会申込 1 万 3000 円

申込方法▶個人申込はホームページより。訪問看護師養成講習会に訪問看護 e ラーニングを活用する都道府県看護協会員は各都道府県看護協会の定めによる。

問い合わせ先▶日本訪問看護財団「訪問看護 e ラーニング」ヘルプデスク

☎ 03-5860-5322

✉ support@netlearning.co.jp

<http://www.jvnf.or.jp/>

講演会
「ケアの社会をつくるのは不可能ではない」

日時▶7月16日(水)

会場▶アンスティチュ・フランセ東京（東京都新宿区）

ねらい▶「配慮（世話）の実践はどうしたら女性だけでなくすべての人々のこととなるのか、集合的責任、他者への配慮といった価値をどのように考えるべきか、依存している人々を支える行動をどのように組織化すべきか」をフランスと日本の視点から議論する。

登壇者▶ファビエンヌ・ブルジュール（モンテニユ大学哲学教授）、フィリップ・モッセ（フランス労働経済社会学研究所）、山下りえ子（東洋大学法学部）、原山哲（東洋大学社会学部）

参加費▶無料

問い合わせ先▶下記メールアドレスまで

✉ t.harayama@toyo.jp

第 25 回
日本小児外科 QOL 研究会
演題募集

日時▶10月18日(土)

会場▶杏林大学医学部大学院講堂（東京都三鷹市）

テーマ▶「チームで支える QOL」—QOL の未来に向けて

募集期間▶7月1日(火)～31日(木)

要望演題▶①NICU 患児の QOL、②腸瘻患児の QOL、③泌尿生殖器術後患児の QOL、④在宅医療の QOL、その他小児外科 QOL に関するもの。

問い合わせ先▶事務局

〒181-8611 東京都三鷹市新川 6-20-2
杏林大学 小児外科

☎ 0422-47-5511

FAX 0422-44-0265

✉ pedsurgqol25@procomu.jp

<http://www.procomu.jp/pedsurgqol2014/>

日本地域看護学会
第 17 回学術集会

日時▶8月2日(土)・3日(日)

会場▶岡山コンベンションセンター（岡山市北区）

テーマ▶継承と変革・地域看護のアクションリサーチ

プログラム▶特別講演「地域に根ざす相互扶助のアクション～岡山のプライマリ・ケア推進と 30 年の国際緊急人道援助の軌跡」菅波茂（アムダ）／公開シンポジウム「愛育委員会活動の継承と変革～愛育村指定・保健師の宿泊訪問から時代と歩んだ 60 年」大場エミ（愛育会）ほか／教育講演 1「アクションリサーチの成果を地域貢献へ～阪神淡路大震災が生んだクロスロード」矢守克也（京都大学防災研究所巨大災害研究センター）／2「地域看護の専門性を高める省察的实践」田村由美（滋慶医療科学大学大学院大学）／3「専門性の『継承』～地域看護・在宅看護への示唆」木村哲也（歴史民俗研究者）／学会長講演／ワークショップ／ランチョンセミナー等

参加費▶

〈6月30日まで〉会員 9000 円、非会員 1 万円、院生を除く学生 2000 円

〈当日〉会員 1 万円、非会員 1 万 1000 円、院生を除く学生 3000 円

※参加費は講演集代含む

※懇親会別途、事前申込 7000 円、当日申込 8000 円

問い合わせ先▶事務局

〒700-8558 岡山市北区鹿田町 2-5-1
岡山大学大学院保健学研究科 岡本玲子研究室

✉ phn@md.okayama-u.ac.jp

<http://www.convention-w.jp/17jachn/>

日本看護教育学学会 第24回学術集会

日時▶8月18日(月)

会場▶前橋テルサホール(群馬県前橋市千代田町)

テーマ▶看護職者の学習継続とキャリア発達

プログラム▶基調講演「少数者としての職業経験—個性輝く職業活動の展開に向けて」松田安弘(群馬県立県民健康科学大学)／演題発表および研究批評／シンポジウム「大学院進学による学習成果と実践への適用—その現状と課題」富永明子(群馬県立県民健康科学大学), 小池洋子(関西中央病院), 長岡波子(国立がん研究センター中央病院), 神田尚子(テルモ)
参加費▶7000円, 懇親会 5000円

申込締切▶7月22日

申込方法▶ホームページ, または専用申込みフォームの郵送

問い合わせ先▶事務局

〒371-0052 群馬県前橋市上沖町323-1
群馬県立県民健康科学大学

☎ 080-4198-8815 または 090-6025-0352

✉ jasn_24@yahoo.co.jp

http://jasne.umin.jp/

第19回日本糖尿病教育・ 看護学会学術集会

日時▶9月20日(土)・21日(日)

会場▶長良川国際会議場・岐阜都ホテル(岐阜県岐阜市長良福光)

テーマ▶長軸的コントロールを支援する知と技“聞くまなざしと語るまなざし”をふまえて

プログラム▶会長講演「人生と病いの長軸的コントロール」黒江ゆり子(岐阜県立看護大学)／招聘講演「糖尿病のある生活における人々のこころの動き(仮)」糖尿病におけるこころの継続的ケアの在り方(仮)ケティ・ワインガー(ジョスリン糖尿病センター)／教育講演1「心のメッセージを聴く」池見陽(関西大学臨床心理専門職大学院)／2「糖尿病食事療法の最

近の話題(仮)」津田謹輔(帝塚山学院大学)／3「糖尿病とともに生きる—対話から希望へ」山田憲一(山田憲一内科医院)／シンポジウム1「長軸的コントロールを支援する知と技—語りを聴くことの意義」畑中あかね(医療法人医誠会医誠会病院), 米田昭子(山梨県立大学), 白水真理子(神奈川県立保健福祉大学)／2「糖尿病透析予防支援—2年間の実績から」小江奈美子(国家公務員共済組合連合会浜の町病院), 岡美智代(群馬大学大学院), 柳井田恭子(川崎市立井田病院)／教育セッション1「心のメッセージを聴くために(仮)」池見陽／2「看て護る者としての聴くことの知と技(仮)」遠藤淑美(大阪大学大学院)／3「病みの軌跡を学ぶ(仮)」伊波早苗(滋賀医科大学医学部附属病院)
事前参加受付▶5月15日(木)~7月24日(木)

問い合わせ先▶運営準備室

〒460-0008 名古屋市中区栄3-32-20
朝日生命矢場町ビル(株)コンベンションリンケージ内

☎ 052-262-5070

FAX 052-262-5084

✉ jaden19@c-linkage.co.jp

http://www.c-linkage.co.jp/jaden19/

第34回日本看護科学学会 学術集会

日時▶11月29日(土)・30日(日)

会場▶名古屋国際会議場(名古屋市中熱田区)

テーマ▶看護ケア学の構築を目指す—研究成果を臨床へ

プログラム▶会長講演「看護ケア学構築へ向けての展望」鎌倉やよい(愛知県立大学)／特別講演1「看護ケアを科学する方法論の構築—褥瘡ケアの体系化を目指して」真田弘美(東京大学)／2「行動の原理からみる看護環境のアレンジ」坂上貴之(慶應義塾大学)／教育講演1「ケアの効果を測定するシングルケース研究法」井上雅彦(鳥取大学)／2「脳卒中患者の背面開放座位ケアプログラム—開発・還元・定着のプロセス—そして課題」大久保暢子(聖

路加看護大学)／シンポジウム1「実践の課題を研究へ—看護ケアプログラムの開発」／2「看護ケアプログラムのイノベーションに向けた方略」／ワークショップ／一般演題／交流集会／市民フォーラム／ナーシング・サイエンス・カフェ

参加費▶

〈10月3日まで〉会員1万円, 非会員1万2000円,

〈当日〉会員1万2000円, 非会員1万4000円

学生3000円

申込・問い合わせ先▶運営事務局

〒460-0008 名古屋市中区栄3-32-20
朝日生命矢場町ビル(株)コンベンションリンケージ

☎ 052-262-5070

FAX 52-262-5084

✉ jans34@c-linkage.co.jp

http://www.c-linkage.co.jp/jans34/

日本BLS協会 新人看護師向け患者急変予防 (PEARS)プログラム 指導員コース

プログラム▶「急変患者を悪化させないための体系的評価法(評価・判定・介入)」／「乳児・小児患者に対する気道管理」／「呼吸障害への対応(上気道閉塞, 下気道閉塞, 肺組織急変, 呼吸調節の障害)」／「循環障害(ショック)への対応(循環血流量減少性, 血液分布異常性)」等

コース▶PEARSコース／PEARS指導員コース／インストラクターコース／PEARSサイト長コース

問い合わせ先▶日本BLS協会事業部

☎ 045-719-4321

✉ info2009@blsjapan.com

http://blsjapan.com/media.html